

一般国道258号

だいそう

大桑道路

(道路事業)

説明資料

平成25年9月30日

中部地方整備局

目 次

1. 一般国道258号大桑 ^{だいそう} 道路の事業概要	
(1)事業目的	P 1
(2)計画概要	P 2
2. 評価の視点	
(1)事業の必要性等に関する視点	P 4
①交通渋滞の緩和	P 4
②物流効率化の支援	P 5
3. 費用対効果分析	P 6
4. 事業の進捗及び見込みの視点	P 7
5. コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点	P 7
6. 県・政令市への意見聴取結果	P 7
7. 対応方針(原案)	P 7

1. 一般国道258号大桑道路の事業概要

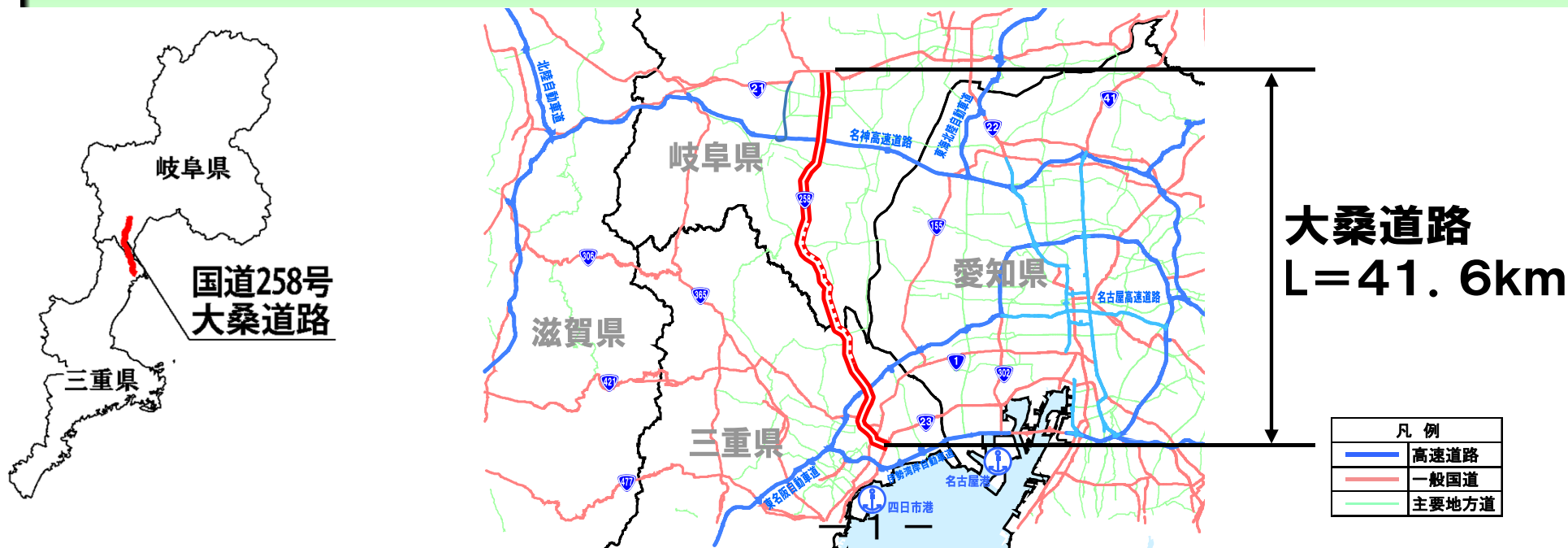
(1) 事業目的

一般国道258号大桑道路は、岐阜県大垣市楽田町から三重県桑名市大字小貝須字柳原に至る延長41.6kmの道路であり、国道258号周辺及び西濃・滋賀方向から名古屋港・四日市港への物流軸を担う唯一の主要幹線道路であり、交通渋滞の緩和、物流効率化の支援を目的に計画された道路です。

平成24年度末迄に起終点両側から26.6kmが4車線化供用済みであり、大垣市・桑名市内における交通混雑の緩和に寄与してきました。

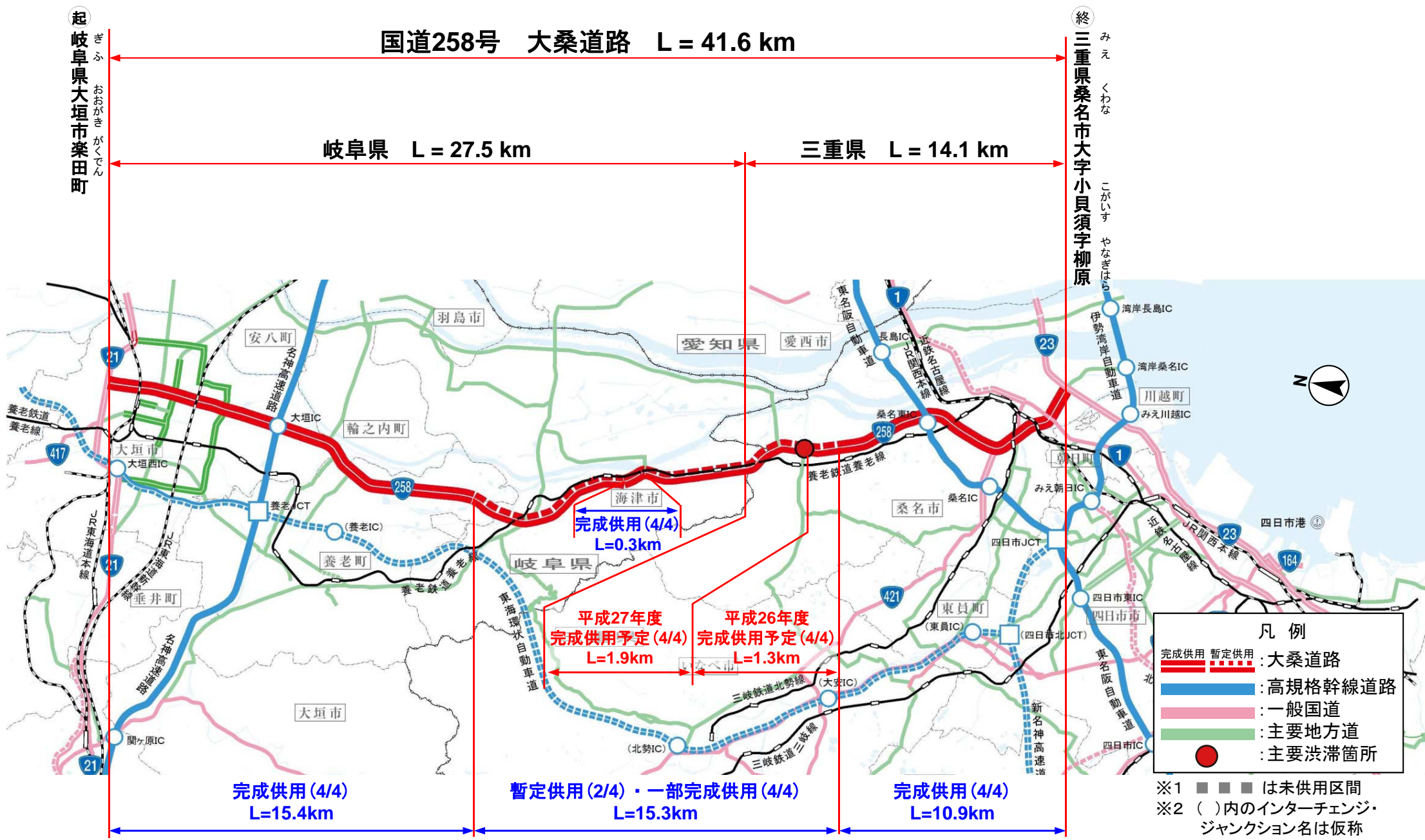
残る15.0kmの暫定2車線区間には、主要渋滞箇所(1箇所)の存在、産業物流における定時性の欠如や高次医療施設へのアクセスなどの多くの課題があり、本事業は、課題解決のために引き続き4車線化整備をすることで、暫定2車線区間の渋滞損失時間を約1割削減する等の効果を見込んでいます。

大桑道路の全体位置図



1. 一般国道258号大桑道路の事業概要

大 桑 道 路 の 詳 細 図

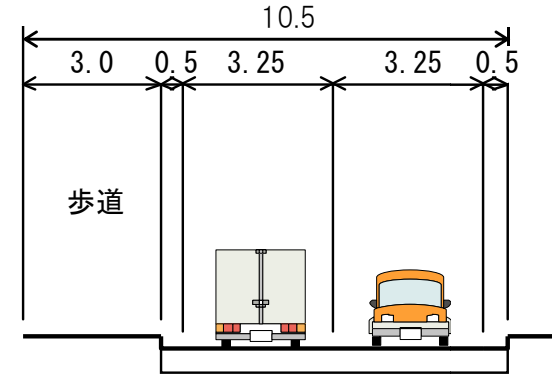


(2) 計画概要

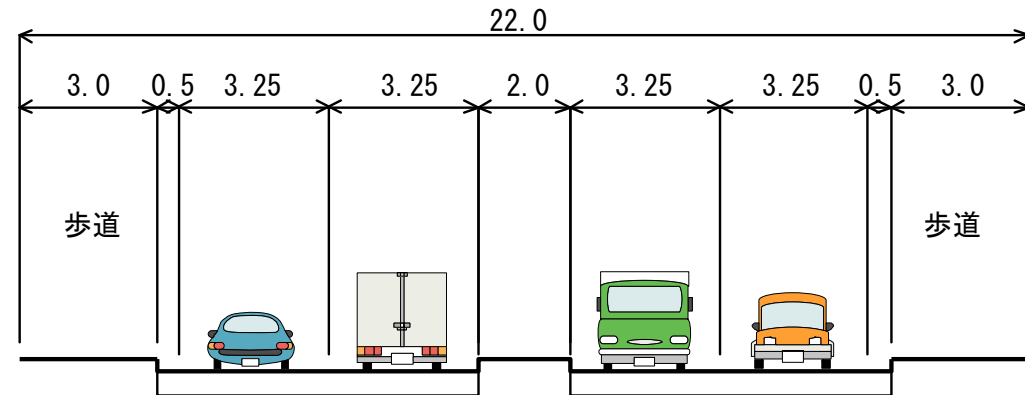
- 道路規格 : 第4種第1級、第3種第2級
- 設計速度 : 60km/h
- 車線数 : 完成4車線
- 都市計画決定 : 昭和40年度、昭和43年度、昭和53年度
(平成8年度一部変更)
- 事業化 : 昭和40年度
- 用地着手年度 : 昭和40年度
- 工事着手年度 : 昭和40年度
- 供用済延長(H24年度末)
: 26.6km/41.6km (完成供用)
- 前回の再評価 : 平成22年度
(指摘事項なし: 継続)
- 全体事業費 : 310億円(増減なし)

標準断面図

一般部 (暫定2車線区間)



一般部 (4車線)



2. 評価の視点：一般国道258号大桑道路

(1) 事業の必要性等に関する視点

① 交通渋滞の緩和

1) 現状の課題

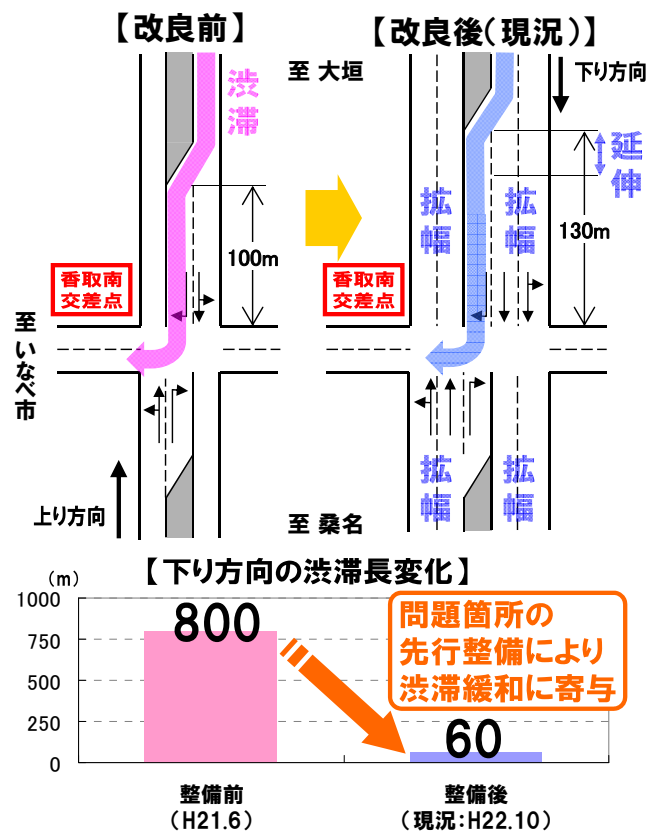
- 国道258号の暫定2車線区間では主要な交差点における改良を先行整備し、交通渋滞の緩和に寄与してきました。しかし、暫定2車線区間の渋滞損失時間は三重県国道平均の最大約5倍と高い状態です。
- 特に、桑名市多度町中心部付近の区間では、4車線から渡河部の暫定2車線が短い区間で連続するためボトルネックとなっており、主要渋滞箇所が存在し、香取南交差点～柚井交差点区間では、約26万人時間/年の渋滞損失時間が発生しています。

2) 整備効果

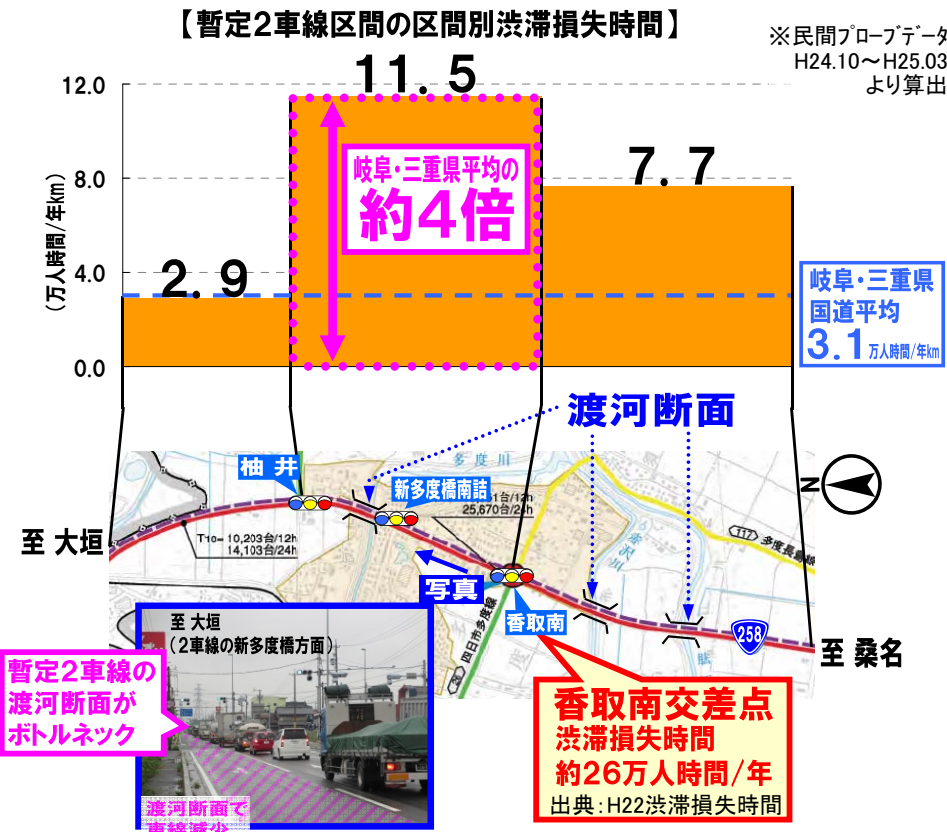
- 大桑道路の4車線拡幅整備により、渡河部のボトルネックが解消し、渋滞損失時間が約1割削減され、交通渋滞の緩和が図られます。

1) 現状の課題

◆ 交差点改良による渋滞緩和効果

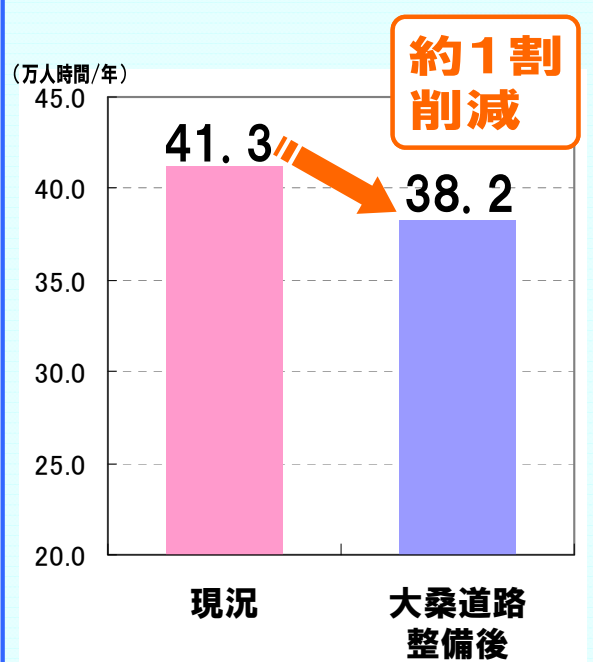


◆ 暫定2車線区間の交通状況



2) 整備効果

◆ 暫定2車線区間の渋滞損失時間削減



※渋滞損失時間の算定方法
 現況 (H24) : 渋滞損失時間(民間プローブデータより算出)
 大桑道路整備後 : 交通量推計により整備あり・なしにおける渋滞損失時間の変化率を求め、現況値に乗じて算定。

2. 評価の視点：一般国道258号大桑道路

② 物流効率化の支援

1) 現状の課題

- 国道258号は岐阜県西濃地域と三重県北勢地域間を結ぶ唯一の幹線道路であり、我が国の大動脈である名神高速道路および東名阪自動車道へのアクセス、名古屋港・四日市港等の物流拠点へのアクセスを担っており、沿線地域には多くの企業が集積しています。
- しかし、暫定2車線区間の内、主要な交差点を含む区間では、朝夕の通勤時のみならず、日中において速度低下による交通混雑が発生しており、産業物流の定時性の欠如から、輸送の効率性を低下させています。

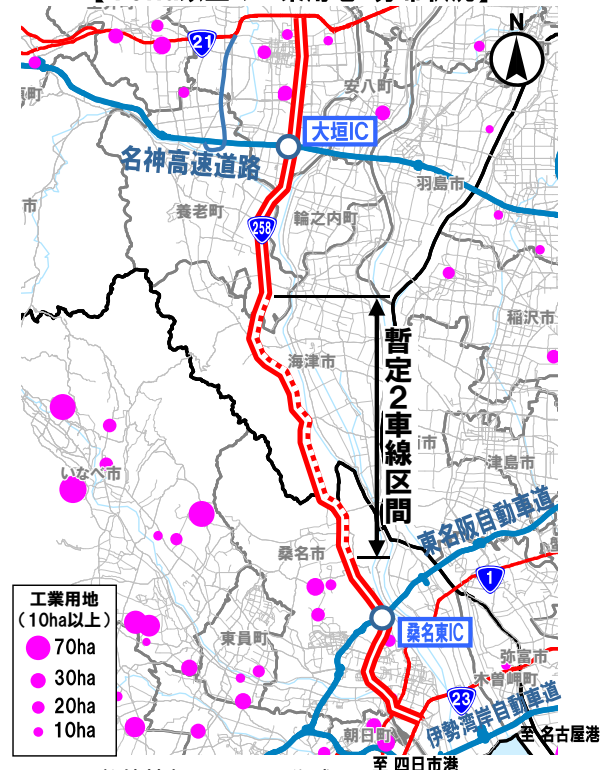
2) 整備効果

- 大桑道路の4車線化整備により、交通混雑が緩和し産業物流における定時性が確保されるとともに、所要時間の短縮で速達性を高めることで、物流効率化を支援します。

1) 現状の課題

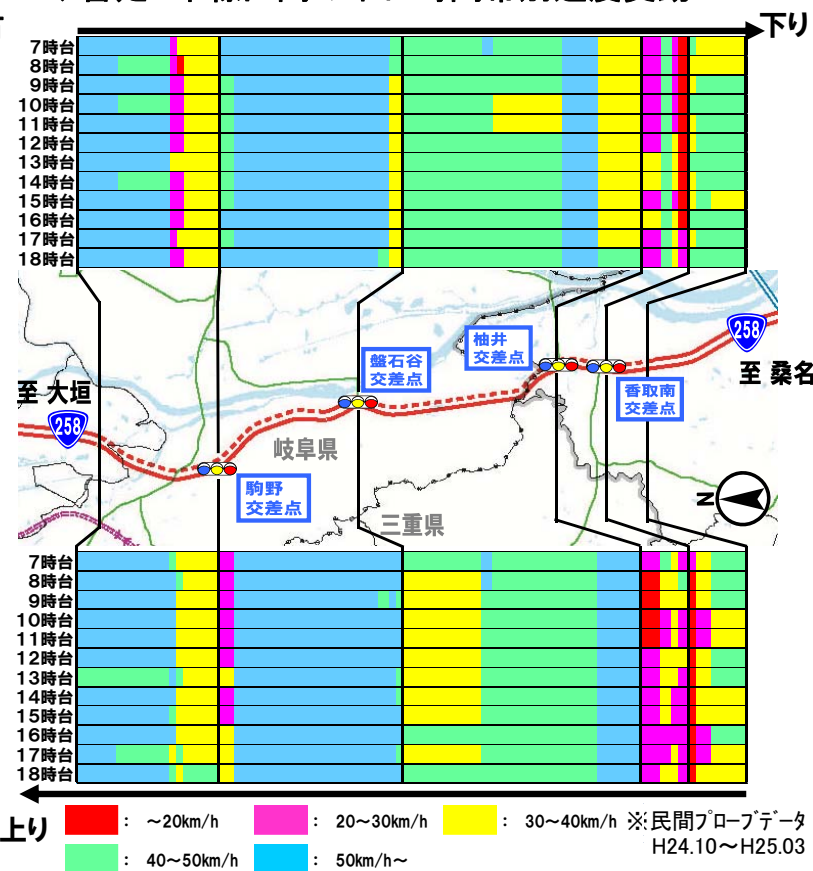
◆ 国道258号沿線地域の工業用地分布

【10ha以上の工業用地 分布状況】



※国土数値情報(H21)より作成

◆ 暫定2車線区間の平日時間帯別速度変動



◆ 沿線企業における国道258号利用状況

【大垣市:A社(製造業)】
 ・三重県伊賀方面に1日5回、時間指定で輸送している。
 ・国道258号の渋滞を避けるため、大垣から桑名市内は、迂回ルートを利用し、258号は部分利用している状況。

【四日市市:B社(運輸業)】
 ・国道258号は、四日市コンビナートから岐阜県西濃地域や滋賀県等に輸送する唯一のルートである。
 ・配送計画では、現地着時間が指定されており、24時間体制で1台あたり1日2~3往復することとなるが、迂回路がないため、交通渋滞により定時性が損なわれてしまう。

出典：北勢国道事務所ヒアリング調査(H25.8)

2) 整備効果

◆ 4車線化による定時性・速達性の向上

大桑道路整備後 ▶ **所要時間14分短縮**
定時性の確保



※所要時間の算定方法

現況(暫定2車線): H22道路交通センサス混雑時旅行度および交通状況調査結果(H25.8)より算出
 大桑道路整備後(4車線): 交通量推計により整備あり・なしにおける所要時間時間の変化率を求め現況値に乘じて算出

3. 費用対効果分析:一般国道258号大桑道路

(1) 3便益による事業の投資効果

○費用便益比(B/C)について

	(走行時間短縮便益)	(走行経費減少便益)	(交通事故減少便益)				
◇B/C(事業全体)	=	1,689億円	+ 30億円	+ 31億円	=	1,751億円	= 2.3(2.2) ※1
		608億円	+ 155億円			763億円	
◇B/C(残事業)	=	442億円	+ 9.6億円	+ 12億円	=	464億円	= 4.9(1.9) ※1,2
		38億円	+ 56億円			94億円	()は、前回評価時
		(事業費)	(維持管理費)				

【前回再評価時からの変更点】

1. H25事業化済道路網に変更(H22→H25) 2. 費用便益分析の基準年次を変更(H22→H25)

※1平成22年8月に公表した「将来交通需要推計の改善について」にて検討することになっていた推計手法の改善(第二段階)を反映した将来OD表に基づきB/Cを算出。

※2未整備区間において、事業を継続した場合に追加的に必要となる事業費の合計と、追加的に発生する便益を対象として算出した。

(2) 客観的評価指標の該当項目

①円滑なモビリティの確保

- ・現道等の年間渋滞損失時間の削減が見込まれる。
- ・特急停車駅(近鉄 桑名駅)へのアクセス向上が見込まれる。

②物流効率化の支援

- ・国際拠点港湾(四日市港)へのアクセス向上が見込まれる。

③国土・地域ネットワークの構築

- ・日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる。

④個性ある地域の形成

- ・地域連携プロジェクト(中部地域航空宇宙関連産業集積活性化ビジョン)を支援する。
- ・主要な観光地(千代保稲荷神社、長島リゾート)へのアクセス向上が期待される。

⑤安全で安心できるくらしの確保

- ・三次医療施設(大垣市民病院)へのアクセス向上が見込まれる。

⑤災害への備え

- ・第一次緊急輸送道路として位置付けられている。

⑥地球環境の保全

- ・CO2排出量の削減が見込まれる。

⑦生活環境の改善・保全

- ・NO2排出量の削減が見込まれる。
- ・SPM排出量の削減が見込まれる。

4. 事業の進捗及び見込みの視点

1) 事業の進捗状況

- 事業進捗率は85%、用地取得率は99%に至っています。(平成24年度末)
- 桑名市多度町香取～桑名市多度町下野代(L=1.3km)は改良工事、桑名市多度町柚井～桑名市多度町香取(L=1.9km)は橋梁工事および調査設計、養老郡養老町大巻～桑名市多度町柚井間(L=11.8km)は、道路詳細設計を推進しています。
- (参考) 前回再評価時：事業進捗率は79%、用地取得率は99%

2) 事業の進捗の見込み状況

- 桑名市多度町香取～桑名市多度町下野代(L=1.3km)は、平成26年度の完成供用を予定しています。
- 桑名市多度町柚井～桑名市多度町香取(L=1.9km)は、平成27年度の完成供用を予定しています。
- 養老郡養老町大巻～桑名市多度町柚井間(L=11.8km)は、概ね10年程度の供用を目指します。

5. コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点

- 大桑道路は、地形、土地利用状況、主要幹線道路との接続などを勘案した路線計画となっており、交通渋滞の緩和、物流効率化の支援など、期待される効果が大きい合理的な計画であるため、計画の変更は困難な状況です。
- ただし、今後、技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進していきます。

6. 県・政令市への意見聴取結果

- 岐阜県の意見
対応方針(原案)のとおり、事業の継続について異存ありません。
- 三重県の意見
本事業は、交通渋滞の緩和や地域経済の発展に寄与する重要な事業です。今後も引き続き、本県と十分な調整をしていただき、暫定2車線の早期4車線化に向けた事業の推進をお願いします。

7. 対応方針(原案)

- 一般国道258号大桑道路の事業を継続する。